49 抗菌剤に頼らない畜水産物の生産体制の推進

令和4年度予算概算決定額 534 (490) 百万円の内数消費・安全対策交付金 2,041 (2,210) 百万円の内数】

く対策のポイントン

畜水産物の安定供給に必要な抗菌剤は、その不適切な使用を原因とした薬剤耐性菌の発生により、動物だけでなく、人への悪影響も懸念されることから、国内外で使用に関する厳しい対応が求められています。このため、輸出促進の観点からも、抗菌剤に頼らない畜水産物の生産体制構築が急務となっていることから、ワクチン、代替薬、迅速な診断手法等の開発を支援するとともに、薬剤耐性菌の監視・動向調査、抗菌剤の慎重な使用に関する研修を実施します。

<政策目標>

薬剤耐性菌の発生を抑え、国産の畜水産物に対する消費者の信頼確保に貢献するとともに、持続的な畜水産物の生産体制を構築

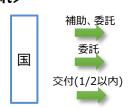
く事業の内容>

- 1. ワクチンや代替薬等の開発・実用化の促進 270(215)百万円の内数
 - ① **不適切な抗菌剤の使用を防ぐため、迅速かつ的確な診断手法の開発**のための 調査研究を実施します。
 - ② 抗菌剤の使用機会の減少に資するワクチン・免疫賦活剤・抗菌剤の代替薬剤・ 試薬・飼料添加物の開発・実用化を支援します。
- 2. 監視・動向調査の強化、抗菌剤の慎重な使用に関する研修の実施

2,305 (2,484) 百万円の内数

- ① 輸出促進に貢献する抗菌剤等使用のガイドラインを策定します。
- ② **農場ごとの抗菌剤の使用実態**を正確に把握し、**獣医師の投薬指導**、畜産物の輸出時に必要な投薬証明に活用できるシステム構築に向けた調査等を実施します。
- ③ 家畜、養殖水産動物等における**薬剤耐性菌発現の動向調査**や、遺伝子データベースを活用し、動物からヒトへの伝播が懸念されている**薬剤耐性菌の調査・解析**を実施します。
- ④ **獣医師、生産者等への抗菌剤の慎重な使用に関する研修**を実施します。
- 3.養殖水産分野における指導体制の構築 2,041 (2,210) 百万円の内数 都道府県が行う**魚類防疫員等への抗菌剤の慎重な使用に関する研修を支援**します。

<事業の流れ>



民間団体等

民間団体等

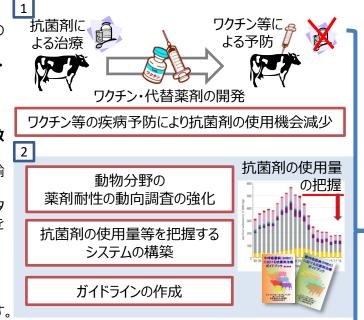
(2の事業の一部)

(1の事業)

都道府県 (20

(2の事業の一部、3の事業)

く事業イメージン



無類防疫員 能力向上 抗菌剤使用 薬剤耐性菌の発生抑制動物での抗菌剤の有効性確保安全な畜水産物の安定供給

畜 水 持*産*

続物

的に

[お問い合わせ先] 消費・安全局畜水産安全管理課(03-6744-2103)